

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度社会教育委員会（第1回）	
開 催 日 時	令和元年6月26日（水）15:30～16:50	
開 催 場 所	宍粟市役所 5階503会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長：中村美代子	
委 員 氏 名	（出席者） 中村美代子・宮脇昭介・田中美由紀・船積攝子 山木康子・福田洋平・森脇圭吾・久保欽哉・ 内海正文・前野良造・清水兼男・岡西清治	（欠席者） 尾前禎一 志水修
事 務 局 氏 名	西岡教育長、田路次長 （社会教育文化財課）柴原課長、岩井、清水、水口、菊元、下多、宮 辻、（市民協働課）小河課長、（人権推進課）西田課長	
傍 聴 人 数	なし	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="radio"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・委嘱書の交付 ・委員長、副委員長の選任 （委員長：中村美代子、副委員長：宮脇昭介）	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	会議次第、宍粟の教育、読書活動推進計画 ほか	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
	<p>■報告及び協議事項 社会教育文化財課等組織、宍粟の教育、平成 29 年度事務事業評価（まとめ） 主要施策・事業の説明（次長、課長、各担当者）</p>
委員	ブックスタート参加率とあるが、何に対しての参加率か。
事務局	市内の 10 か月の子どもとお母さんが対象になる。
委員	今年度の施策の中で、図書館の主要施策はないのか。
事務局	行政は多くの事業を持っており、主要施策説明書はその中からピックアップしたようなものである。全ての社会教育関係施策が含まれているわけではない。
委員	図書活動の中で、これから図書館の利用も変わってくると思う。図書館がどこにあっても読めるような電子図書や電子ブックが広がっていくと思う。一方で、学習環境としての整備も求められることになる。電子ブックなどの整備はどのように考えられているのか。また、これからの図書館の整備について、学生が勉強しやすいような環境をつくっていくことについて、どう考えられているか。
事務局	<p>20 ページに図書館のスケジュールを載せているが、一番上に電子図書の整備を挙げている。図書館の本は著作権の関係上、購入したものだけが見れることになるが、現在はまだ 2,000（冊）に達していない。主体はたつの市が進めているものを、宍粟市も活用している状態である。定期的には購入してもらっている。登録者はあまり多くないが、現在で 130 人ほどになる。</p> <p>デジタル図書は一昨年まとまった数を購入したが、一冊何万円もするので数は多くない。他に朗読ボランティアの協力を得て、録音したものを貸し出すなどをしている。今年はデジタルに限らず、CDによる資料の購入を考えている。目が見えない人だけでなく、見えにくくなった人、車に乗って聞きながらといった活用も考えられるので、そちらも充実させて、宣伝していきたい。</p> <p>学習スペースは、始まって 1 年くらい経つが、利用者は市立図書館で 700 人くらいである。特に試験前と夏休みに利用は集中している。平時は少ないが、利用者によっては、開館から閉館までいる人もある。小学生で 10 人くらい、中学生から一般で 6 人くらい座れるが、スペースが少ないのでこれ以上の増設は難しい。</p>
委員	学習スペースは特に増やしてほしいという要望はないか。
事務局	満席になることがあまりないので、特にはない。3 時間で利用制限としているので、空いていたら延長をしてもらおうことにしているが、延長を断ったことは一度もないので、今のところ不便は感じておられないかと思う。

委員	宍粟市の図書館で勉強できる認識がないだけだと思う。2階に歴史郷土館があるが、2階は勉強できるスペースにするなどを考えてもいいかもしれない。
事務局	図書館に学習スペースを設ける話になった時に、2階をそのスペースに活用する案も出たが、図書館内で催しを行える唯一の部屋であることや、管理上目が届かないという問題もあり、2階を学習スペースに使うことは見送った。
委員	歴史郷土館はいつまであの形で展示しておくのか。どこかに移転するという考えはないか。
事務局	図書館もスペースがなくなっており、文化財も含め、いろいろな方から整備をしてはどうかという意見はいただくことはあるが、なかなか見込みは立っていない。
事務局	追加の説明をさせていただく。図書館の貸出は、金曜日だけ午後6時30分まで延長している。しかし、それにも間に合わないので返すのだけでもできないかということで、来年度図書の返却ボックスを設置する予定である。4つの館でいつでも返却できるように、設置に向けて研究を進めていきたい。
委員	市の施設ではないが、JAハリマのサンパティオ図書館の引き受け手が決まったと聞いたが、何か情報は入ってきているか。地元の人が引き受けるという話になったそうだが、農業関係の資料も多いと聞いているので、教育委員会でも興味を持っておいていただければと思った。
委員	今回初めて出席の方もいるが、他に意見などはないか。
委員	子ども会の球技大会について、山崎でも参加者が激減している。ソフトボールは一宮や波賀よりも山崎が少ない。昔は地元で練習して参加していたが、今はそういうこともない。学校などに呼びかけたりして、参加してほしいと思うが、そういうことはどうなっているか。
事務局	きちんとした調査をしたことはないが、私たちが子どものころは、男の子はソフトボール、女の子はドッジボールと、自然と参加していた。ただ、現在は自治会内に子どもがいないから単独でできずに周辺の自治会と一緒にすることになる。みんなでやろうとなればよいが、隣の子ども会と話をしても、子どものために親同士が協力しようという流れにもならない。小規模な学校では、学校から〇チームというような参加をされることもあるが、それでもドッジボールの方に流れていく傾向はある。山崎からソフトボール1チームというのは、想定よりひどい状況ではある。子どもたちも結構忙しいのも原因かと思うが。
委員	子どもたちがそういうことをやっている場所がない。見ることがない。

委員	<p>自治会長などに依頼して、何かできないか。地域の中で集まって一緒にするとかトップから働きかけることで何とかならないかとは思う。</p>
事務局	<p>子ども会から聞いた話では、単位子ども会ではチームがつかれないので、北部では学校区で話し合い、ソフト○チーム、ドッジ○チームというような話し合いをされている。山崎では、単位子ども会でチームを作れるところもあるので、全てが学校で、地域でチームをとという方向にはなっていない。隣の子ども会と調整し出ようかという動きはあるようだが、その程度なので、チーム数が増えるところまではいっていない。子どもの数が減っているものもある。</p> <p>また、最近はベースボール型スポーツをする子どもが減っている。サッカーやバレーもあり、子どもの取り合いのようになってしまい、ベースボール型スポーツを行う子どもが少なくなっている。そのような中で、ソフトとドッジどちらに出るかとなったら、ドッジボールであれば、ベースボール型スポーツの経験は問われないので、取り組みやすい。そうすると「ドッジに出よう」という流れになっている。山崎はソフトが減った分ドッジは増えている。</p> <p>働きかけをどうするかとは思いますが、学校にはしづらいので、子ども会は子ども会に役員さんを通じて運動していく必要があるかと思う。</p>
委員	<p>自治会同士でというのはわかる。私の住む西町自治会には、獅子舞があるが、子どもたちが少なくて運営できない状態になっている。元山崎とか門前とか鹿沢とか、近隣の自治会に声をかけて、何とか出てきてもらって開催している状況である。西町は中心であるが、ほとんどは他の自治会の子ども。そういうつながりから、自治会単位で協議してできないかとは思う。</p>
事務局	<p>事務連絡。社会教育委員全国大会の説明ほか。</p> <p style="text-align: center;">16 : 50 閉会</p>